

# 6月の行事予定

春耕たけなわ、恵みの雨も降りました。あとは気温がぐんぐん上がって、五月晴れが続けばいいスタートになりますね。

日	曜	行事予定	日	曜	行事予定
1	木	運動会総練習 安全点検	7	土	PTA運動会外視察研修(～18日)
2	金	運動会前日準備	8	日	
3	土	閉校記念合同大運動会	19	月	
4	日		20	火	
5	月	振替休日	21	水	
6	火		22	木	挨拶運動①
7	水	職員会議	23	金	CIR
8	木		24	土	
9	金	尿検査2次 CIR	25	日	
10	土		26	月	
11	日		27	火	歌声集会②
12	月	児童会④	28	水	札内南小交流学习① 校内研修日⑤
13	火	さわやかタイム②	29	木	歯科検診
14	水	校内研修日④	30	金	CIR
15	木				
16	金	CIR			

# 5月のできごと

日	曜	主なできごと
1	月	きつない学園会議～まなび部・こころ部・かかわり部のそれぞれに3～4つのさらに細分化された部があります。各部長が今年度の取組について確認し、学園としての「めざす子ども像を共有しました。いよいよ具体的に動いていきます。
9	火	クリーン作戦 ボランティア活動で校舎沿い道路のゴミ拾いを行いました。役場の方2名にもご協力いただき、30分ほどで大きなゴミ袋2つ分のゴミを拾いました。毎年拾っているのに毎年たくさんゴミがでます。どれだけ「大人」がゴミをポイポイと捨てているかということに他なりません。子どもたちには、そういう大人には決してなってはいけないという話をしました。
12	金	校外学習で帯広市緑ヶ丘公園に行きました。中高学年は帯広神社から、低学年は十勝プラザから歩いて緑ヶ丘を目指しました。当時は遠足日和で、園児から高校生まで、小学生を中心にもものすごくたくさんの学校が緑ヶ丘公園・動物園・グリーンパークに来ていました。
17	水	避難訓練 消防署の職員を講師に招き、消火器を使った消火訓練等を行いました。
22	月	運動会特別時間割開始。今年は、4年ぶりに地域との合同運動会が復活します。また、閉校記念という冠もつきます。古舞地域・小学校の「最後の運動会」となります。ご協力のほど、よろしく願いいたします。



## 「マスク」

校長 猪股 宏亮

5月8日よりコロナウイルスの扱いが5類となり、感染者数の公表もなくなり、諸々の規制がほぼなくなりました。かつての日常がもどってきた感がありますが、街へ出かけるとまだまだ8～9割くらいの方がマスクを着用しています…。

国内では既に3年半ばかり、マスクは個人の判断となっていました。そして、学校現場では4月からマスクは不要となったわけですが、4月当初は学校内でもマスクを外した生活に違和感がありました。依然として、買い物などで街に出るときも、マスクを外せる空気ではありませんでした。もしかしたら、今でも多くの方がそう感じているのかもしれない…。

この3年間、家の中ではマスクを外していました。外へ1歩出ると、マスク、マスク、マスクでした。3年も続くと、外で外すのが逆に違和感となりました。まるで、パンツも履かずに外を歩くような感覚になっていました。マスク解禁となってからも、マスクの呪縛からなかなか解放されませんでした。

しかし、あることをきっかけに、ようやくマスクの呪縛から解放されました。今では、周りの9割がマスクをつけていようとも、ほとんど気にならなくなりました。

マスクからの解放のきっかけとなったのは「旅行」でした。

GWに台湾に行きました。3年分のコロナの鬱憤を解き放つため行ってきました。計画したのは4月の末でした。色々調べていると、日本への入国には3回目のワクチン証明(ブースター接種証明)か、帰国72時間以内のPCR陰性証明が必要であることがわかりました。どちらかがないと帰国できないので、やむを得ずワクチン接種をして、保健センターで接種証明書ももらって来ました。帰国予定日は5月7日、GWの最終日でした。「5類になる5月8日からそんな証明書も不要になるんだろうな…」、とっていたら、なんと4月29日から不要になりました。結果から言うと証明証は最初から不要でした。日常に戻るスピードも加速しているなど感じました。

台湾でも滞在中2日に1回抗体検査をして、その結果を当局に提出する(たぶん写メで)よう、義務付けられているという情報を得ていました。しかし、イミグレーションで検査キットを渡されることもなく、台湾でも日本同様に、ほぼコロナフリーになっていました。

台北には日本人を含む外国人観光客がたくさん来ていました。外国人はほとんどマスクをつけていませんでした。台北の人も若い人を中心に2～3割くらいの方がマスクをつけていませんでした。

台北は想像以上に暑く、連日35℃以上あり、最も暑かった日(台南まで行った日)は、38.8℃もありました。暑すぎてマスクをしていられる状況ではなく、ずっと外していました。満員電車の中も、歩けないほど混み合う夜市(台湾の市場・露店文化)でも、マスクはずっと外していました(着けていられなかった)。

大勢の中で約1週間、マスクフリーの生活をしたらおかげで、マスクなしが当たり前になりました。ようやくマスクなしの違和感から解放されました。旅行でマスクを外す経験がなければ、今でも人目が気になり、街歩きの際にはマスクをつけていたかもしれません。旅行がリハビリになりました。逆に言うと、外すためにリハビリが必要だということです。それくらい深いマスク依存になっていたということかもしれません。

因みに南の台南では、ほぼ100%の人がマスクをつけていました。ものすごく暑いのに大変だなど思いました。また、頻りに戦闘機が、台南の上空を超低空飛行で飛んでいました。ウクライナがロシアの侵攻を受けるとすぐに、中国による台湾侵攻というキーワードが世界を駆け巡りました。元々訓練をしているのか、このご時世だから訓練が盛んになったのかは定かではありませんが、都会の上空を超低空飛行はちょっと不気味でした。台南の人に聞いたら、「没注意=気にしないw」と、笑い飛ばしていましたが…。世界和平…!



# クリーン作戦

5月9日（火）校舎周りの道路沿いのゴミ拾いを行いました。今年もコロナの影響で地域と合同のゴミ拾いはありませんでしたが、役場の「緑と水を守る会」（幕別町農地・水保全管理対策協議会）の方2名を招き、全員で二手に分かれてゴミ拾いを行いました。



「古舞公区の道路に落ちているごみは、ほとんどがポイ捨てされたゴミです。ポイ捨てされたごみはほぼ100%、大人が捨てた（車の窓から）ゴミです。今日はゴミ拾いを通じて、こんなゴミを捨てる大人にならない！という気持ちを持ってほしい。」という挨拶をしました。

毎年同じ場所から拾っているのに、毎年空き缶やペットボトル、プラスチックごみがたくさん出てきます。どんな思いで子どもたちが「大人の捨てたゴミ」を拾ったのかを考えると、ポイ捨ては罪が大きいと感じます。子どもたちはその辺にゴミを捨てたりしません。大人にこそゴミ拾いをさせるべきだといつも思うのですが…。

ゴミ拾いをして思うこと。問われる大人の品格。いつもそう思います。とりわけ、袋ごと打ち捨てられてキツネやカラスが散らかしたゴミを見ると悲しくなります。あれは酷い。



斜面を転がる古舞小の子どもたち

昨年のように雨にあたることもなく、屋外で美味しくお弁当もいただきました。朝からお弁当作りをしていたお母さんたち、ありがとうございました。

高学年には自分で弁当を作ったという児童もいました。フルーツバスケット的なゲームの中で、「今日自分で弁当作った人！？」という質問があったので、お弁当を自分で作った児童がいたことがわかりました。

自立を促す家庭教育の姿を感じることができました。できることはどんどん自分でやらせる。とても大切なことだと思いました。さすがです！

# 春の校外学習

5月12日（金）春の校外学習で、緑ヶ丘公園に行ってきました。市内や管内からたくさんの小中学生、高校生などが来ていて、遊具に長蛇の列ができるなど、子どもたちでごった返していました。コロナはどこへ行ってしまったのかという感じでした。

古舞小の子どもたちも、芝の斜面を転がったり、公園内の森を散策したりと、開放感を満喫していました。



フルーツバスケット的な遊び

# 火災避難訓練

消防署の方を招いて火災避難訓練を行いました。全員が消火器の使用方法について実際に使用してみました（訓練用の水が出る消火器を用いて）。

いざ、火災になると落ち着いて行動できるかどうかわかりません。

35年も前の話ですが、実際にホテル火災を体験したことがあります。夜中の3時に「4階から出火、避難して下さい。」と放送が流れました。私は、7階に宿泊していました。廊下に出る扉を開けるとすでに煙で充満し、視界は0mでした。「死」がよぎりました…。

さっさと避難すればいいのに、着替えて、荷物をすべて持ってから非常階段を使って非難しました。幸い非常階段には炎も煙もありませんでした。後から考えれば、愚の骨頂です。いざとなった時に、「自分だけは大丈夫。」という**正常化バイアス**が働いてしまうのが人間というものです。…なので、訓練は**とても大切な**のです。子どもたちも真剣に取り組んでいました。



# 古舞小学校閉校記念合同運動会

今年の運動会は、閉校記念という冠と地域合同という冠の2つが加わります。

5月22日から特別時間割が開始されました。運動会のテーマも校舎に掲げられました。

4年ぶりとなる地域との合同運動会で、PTAや地域との話し合いを重ねて実施に向けて動いてきました。来賓にもお越しいただきます。完全復活とはいきませんが、4年前の姿に近づいた形で実施できそうです。

地域の皆様のご協力をお願いいたします。



運動会テーマ看板作り

# 春耕たけなわ

Gw中、保護者の若山さんに、学校園を耕し肥料も入れていただきました。また、種芋のご提供もいただきました。春耕たけなわの多忙な時期に、誠にありがとうございました。

早速子どもたちも愛情をこめて、種や苗を植えていました。子どもたちは、学校園の維持管理、収穫をととても楽しみにしています。あいさつや発表の中で、学校園のことを語っている児童もいました。

いっぱい収穫できるよう、これから水遣りや草取りをがんばります。

5月21日、恵みの雨も降りました…。